

1. 開催年月日 令和6年1月25日
2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
3. 委員出席
委員総数 6名
出席委員数 4名
- 放送事業者出席者
2名

4. 議題
・局からの近況報告
・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

- (1) 開会宣言
放送事業者からの開会宣言
- (2) 局からの報告
特別放送「1月5日放送 青山学院大学倉本選手緊急出演」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局 「今年の正月の箱根駅伝で優勝した青山学院大学の倉本選手に急遽出演して頂いた。倉本選手は世羅高校時代に出演して頂いたという経緯もあった。当時は青山学院大学に入学が決まった段階で将来、箱根を走りたいという夢を語ってくれていた。それが実現でき、そのことについて話をしてくれた。いずれにしても当日は移動時間のこともあり、ギリギリのラジオ出演だった。更に到着が遅れてしまい、本来の番組では出演時間がなくなってしまった。そのため、急遽、次の番組のオープニングも引き続き出演してもらい、話を続けた。スタジオ前には観覧に来られる方や花束を持って来られる方もいて、少しでも長く話を聴かせたかった。反省点としては、私たちの方で、万が一、遅れたらどうするか?という想定ができていなかった。もっと、いろんなケースを想定して放送を準備しておく必要があった。」

A 氏 「伝えてくれたということに感謝している。時間をオーバーしても対応したのは良かったのではないか。今回の倉本選手の活躍は三原市にとって本当にうれしいニュース。これを伝えてくれたのはうれしい。」

事務局 「担当パーソナリティがしっかり調べていたことが大きかったと思う。そのため、到着が遅れてもその間、時間を持たせることができた。」

B 氏 「本人の口から体調のことやレース前のこと聞けたのは良かった。私たちが知らないことを本人から聞けたのは大きいと思う。」

C 氏 「大会が終わってすぐに出演してもらうことが出来るとは思っていなかつた。シンプルに良かったと思う。」

A 氏 「他にも活躍しているスポーツ選手が三原にはいる。そういう選手にも出

演してもらえるようにしていったらよいのではないか。」

事務局「女子ソフトボール選手も全国大会に出場している。そういう選手たちも紹介していきたい。」

A 氏「三原を巣立っていった選手たちをこれからも紹介していってほしい。」

第一号議案「番組審議について」

番組名：竹岡健也の明日晴れるかな

1月9日放送分について

放送日：毎週火曜日 夜19時～

事務局「この『竹岡健也の明日晴れるかな』はトーク番組としてスタートした。ラジオを聴いて明日もちょっと良い事があるね、と思ってもらえるような番組にしたいということでスタートしている。当初は隔週で女性パーソナリティが参加していたが今は、竹岡社長がメインで話をしていくスタイルになっている。そういう点では当初とはずいぶん番組の内容は変わっている。『嫌な自慢コーナー』『有名人を呼ぼう』というコーナーが当初はあった。この『有名人を呼ぼう』というコーナーが少し変わってきて、『ラジオ業界では有名なリスナーを呼ぼう』という形になった。これは非常に大きな反響を得ている。そのうち、リスナーだけではなく、エリアを超えてラジオパーソナリティも出演するようになった。そんな中で、富山県氷見市のローカルタレントしまえりなが昨年、ラジオ出演してくれた。そのことがきっかけでコミュニケーションがとれるようになった。そんな中、1月1日の地震が起きた。氷見市も震度5強という大きな地震に見舞われた。番組では地震が発生して8日後に現地の様子を紹介した。震災後、すぐであったため、バラエティ色を押さえて、震災後の様子を伝えるという内容になった。テレビのように映像はないが、現地の様子を音声で伝えた。」

C 氏「このようなネットワークは番組自体で出来ていったのか？」

事務局「ラジオリスナーからの紹介によるネットワークから出来ている。ラジコというアプリにより、全国のラジオ番組が聴けるようになった。そのため、非常に広いエリアでネットワークを作ることができるようになった。」

B 氏「話の中でメディアによっては『悲惨な部分ばかりを放送している』という話があった。同じ地震でも場所によって随分違うという感じを受けた。」

C 氏「出演してもらった人とネットワークを作っているからこのような放送ができる。なかなかローカル放送局では難しいこと。非常に興味深い。」

事務局「コミュニティFMが全国にあるがこのような関係性は作っていない。バラエティ番組のネットワークだからこそ、できているのかもしれない。竹岡社長自身も震災後、被災地にすぐに荷物送っている。これも素晴らしいと思う。」

C 氏「やはり、異業種だからできる発想力があるようだ。」

事務局「一般の方がこれだけ電話で話ができるのは素晴らしいと感じている。2年間やった結果だが、経営者の方が毎週ラジオに出るというのは難しいがそれを続けてきた結果ではないかと思う。」

C 氏「ラジオを聴いたという声も増えてきている。」

D 氏「こういった形でメディアを通じて人間関係を広げていくというのはローカル媒体では難しい。発信力を強めていくというのは素晴らしいと思う。」

B 氏「このシステムなどは全て竹岡社長が考えたものか？」

事務局「基本的にはそう。異業者だから出来ることだと思う。また、周りのブレインもユニーク。」

C 氏「FMみはらも参考にしてみる点が多いのではないか。」

- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
・必要にあわせて今後の審議会の中で対応したことについて発表する。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法：事務所への備置き ホームページでの公開

公表の内容：議題、議事の概要および審議内容

公表年月日：令和6年1月31日

9 その他参考事項

